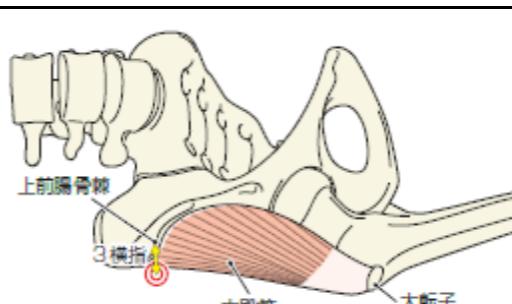
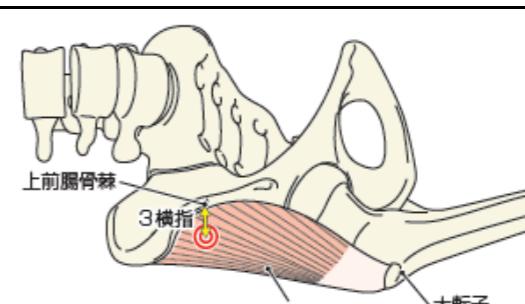


『日本理学療法学会連合版徒手筋力検査法』正誤表

『日本理学療法学会連合版徒手筋力検査法』第1版第1刷（2024年9月10日）に誤りがありました。

ここに深くお詫びいたし、訂正申し上げます。

(2026年1月15日メジカルビュー社編集部)

ページ	該当箇所	誤	正
p.39	判定基準3	弱い抵抗に負けず 肩甲帯拳上位から肩甲帯下制中間域まで下制し、その構え を保持できる	弱い抵抗に負けず 肩甲帯下制中間域 を保持できる
p.48	判定基準3～5	3：弱い抵抗に負けず 初期姿勢 を保持できる 4：中等度の抵抗に負けず 初期姿勢 を保持できる 5：強い抵抗に負けず 初期姿勢 を保持できる	3：弱い抵抗に負けず 肩甲帯伸展中間域 を保持できる 4：中等度の抵抗に負けず 肩甲帯伸展中間域 を保持できる 5：強い抵抗に負けず 肩甲帯伸展中間域 を保持できる
p.66	被検者の初期姿勢 2行目	…肘関節軽度屈曲位、前腕回内位とする。	…肘関節軽度屈曲位とする。
p.67	被検者の初期姿勢 2行目	肘関節軽度屈曲位、前腕回内位とする。	肘関節軽度屈曲位とする。
p.69	検者	…被検者の上腕遠位前面に当て…	…被検者の上腕遠位外側面に当て…
p.74	被検者の初期姿勢 2行目	肩関節90° 外転位とする。	肘関節90° 屈曲位とする。
p.74	レバーアーム長	上腕骨長軸に平行な肩峰角からセンサ中心までの距離	肘頭からセンサ中心までの距離
p.79	被検者の初期姿勢 2行目	肩関節90° 屈曲位とする。	肘関節90° 屈曲位とする。
p.86	検者2行目	…水平内転方向へ…	…水平外転方向へ…
p.86	図18-B-2	…水平内転方向へ…	…水平外転方向へ…
p.101	課題運動	…最大回外位とし、…	…最大に回外し、…
p.101	判定基準3～5	3：弱い抵抗に負けず 前腕を回外し、その構え を保持できる 4：中等度の抵抗に負けず 前腕を回外し、その構え を保持できる 5：強い抵抗に負けず 前腕を回外し、その構え を保持できる	3：弱い抵抗に負けず 前腕最大回外位 を保持できる 4：中等度の抵抗に負けず 前腕最大回外位 を保持できる 5：強い抵抗に負けず 前腕最大回外位 を保持できる
p.105	課題運動	…最大回内位とし、…	…最大に回内し、…
p.105	判定基準3～5	3：弱い抵抗に負けず 前腕を回内し、その構え を保持できる 4：中等度の抵抗に負けず 前腕を回内し、その構え を保持できる 5：強い抵抗に負けず 前腕を回内し、その構え を保持できる	3：弱い抵抗に負けず 前腕最大回内位 を保持できる 4：中等度の抵抗に負けず 前腕最大回内位 を保持できる 5：強い抵抗に負けず 前腕最大回内位 を保持できる
p.119	検者1行目	前腕を支える。	前腕～手部を支える。
p.119	図25-B-1	…前腕遠位部尺側面を支える。	…前腕～手部の尺側面を支える。
p.124	検者1行目	前腕を支える。	前腕～手部を支える。
p.124	図26-B-1	…前腕遠位部尺側面を支える。	…前腕～手部の尺側面を支える。
p.154 p.168	図32-D-1 b 図35-D-2 b		 上前腸骨棘、⇨、○の位置を修正
p.157	検者3行目	…内側面に内転方向へ…	…内側面に外転方向へ…
p.157	図33-B-3	…内側面に内転方向へ…	…内側面に外転方向へ…
p.164	レバーアーム長	大腿骨長軸に平行な大転子から…	大腿骨内側上顆から…